



坂手港坂手地区離島フェリーターミナル整備事業(交付金事業)

島民の暮らしと観光産業を支える

現在 now

将来 future

離島フェリー乗降客の
利便性向上(バリアフリー化)

インフラ



平成28年度 事業完了予定

瀬戸内国際芸術祭期間中の
経済効果・来場者数(香川県内)

	経済効果	来場者数
第1回 (2010年)	111億円	94万人
第2回 (2013年)	132億円	107万人

出典：瀬戸内国際芸術祭実行委員会資料より四国地整作成

瀬戸内国際芸術祭春会期の来場者数比較

2013年	7,970人/日
2016年	8,768人/日

1日あたりの来場者数
約800人増加
→経済効果が期待される



来場者・島民からの声(2013年)
・次回もまた来たい(来場者8割以上)
・瀬戸芸を通じて、地域が一丸になることができ、島民同士の結束ができた。
・船で旅をするというコンセプトが良かったのではないかと。

観光産業による経済の活性化

小豆島と高松及び神戸を結ぶ定期航路が就航している坂手港において、高齢者・身体障害者等のフェリー乗降客の利便性を向上させるため、香川県において港湾施設整備を実施中(交付金事業)

3年ごとに瀬戸内国際芸術祭が開催されており、外国人観光客を含む多数の来場者に対する利便性も向上し、観光産業を通じた地域経済の活性化にも寄与

